

# GLOBALBASE ガイドブック

森 洋久

joshua @ globalbase.org

2007-11-04 版

# 目次

第 1 章	はじめに	2
1.1	目的と概要	2
1.2	このマニュアルを読むために必要な知識	2
1.3	前提となるシステム要件	2
第 2 章	マニュアルガイド	3
2.1	初心者であり GLOBALBASE を閲覧したい場合	3
2.2	GLOBALBASE 専用ブラウザ cosmos の起動と閲覧	3
2.3	GLOBALBASE で自分の地図を公開したい	4
2.4	自分が公開する地図を WWW 上に貼付けたい	5
2.5	トラブルシューティング	5
2.6	GLOBALBASE 開発プロジェクトへ参加したい	5
2.7	古いマニュアル	6

# 第1章 はじめに

## 1.1 目的と概要

1. 初心者であり GLOBALBASE のコンテンツをとりあえず閲覧したい場合
2. GLOBALBASE のサーバを立ち上げ、コンテンツを公開したい場合
3. GLOBALBASE の開発プロジェクトに共同参加したい場合

以上のような各種要望に対応するために現在マニュアルを整備中です。当マニュアルは要望に合わせて、どのようなマニュアルを読んだら良いかを答えるものです。

## 1.2 このマニュアルを読むために必要な知識

とりあえず、GLOBALBASE のコンテンツを閲覧したい場合には、お手持ちのコンピュータを起動し、WWW ブラウザを閲覧した経験があること、また、アプリケーションをダウンロードし、インストールした経験があれば問題ない。それぞれの作業や要望でどのような知識が要求されるかは各マニュアルに記述されているのでそれを参考にしてください。

## 1.3 前提となるシステム要件

GLOBALBASE の閲覧ソフトウェアは、Windows Macintosh Linux など大抵の OS で動作します。また、サーバソフトウェアも、Windows 版は開発中であるが、Macintosh Linux など posix 系の OS でどうさせることが出来ます。詳しいことは、やりたいことによって各マニュアルの冒頭に記載されているので、それを参照してください。

## 第2章 マニュアルガイド

### 2.1 初心者であり GLOBALBASE を閲覧したい場合

もし、アプリケーションをネットワークからダウンロードしインストールするといった経験はないが、しかし、GLOBALBASE のコンテンツを閲覧したいという場合は、GLOBALBASE を WWW へ変換する GLOBALBASE-GATEWAY ( LOCALBASE ) を使った WWW コンテンツを探すことが良いでしょう。しかしその場合でも WWW ブラウザを動かした経験は必要です。たとえば現時点では以下のようなサイトがあります。

1. 平安人物志地図ページ (<http://tois1.nichibun.ac.jp/hsis/gateway/main.html>)  
国際日本文化研究センター
2. 大阪市立大学 都市文化研究プラザ (<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/>)
3. 京都新聞折込センター (<http://www.kyoto-orikomi.jp/>)

その他にも、新しくかつ面白いゲートウェイサーバがあれば、随時 GLOBALBASE ホームページ (<http://www.globalbase.or>) で紹介して行く予定です。

これらのサイトは一見単なる WWW サーバのように見受けられますが、その地図の表示部分は、GLOBALBASE の世界の無尽蔵な地図の中から適切な地図を表示する地図を重ね合わせる GLOBALBASE のアルゴリズムがバックで動作しています。これらのページの中には単に一枚の地図を閲覧出来るのみならず、ベースマップを変えたり、重ね合わせたり様々な GLOBALBASE の特徴的な機能を使っているページがあります。

### 2.2 GLOBALBASE 専用ブラウザ cosmos の起動と閲覧

- 「COSMOS ユーザーズ・マニュアル [1]」
- 「COSMOS リファレンス・マニュアル [2]」

WWW では google map などと一緒にではないが、ということで、もっといろいろな地図を自分の手で選び閲覧したいという場合はもう専用ブラウザ COSMOS を利用するしかありません。また、初心者でなくとも、サーバを立ち上げ、管理したい、コンテンツを作成したり、前章で紹介した、GLOBALBASE-GATEWAY ( LOCALBASE ) を自分の手で立ち上げたいと考える方でも、地図が正しくセットアップされているかななどを詳しく確認出来る手段ですので、まずは、cosmos で地図をブラウジング出来ることは基本です。cosmos のインストール方法と利用方法について解説したマニュアルは、「COSMOS ユーザーズ・マニュアル [1]」です。また、各ウィンドウや機能の詳細を解説した、「COSMOS リファレンス・マニュアル [2]」もあわせてご利用ください。

## 2.3 GLOBALBASE で自分の地図を公開したい

- LOCALBASE 関連
  - 「LOCALBASE セットアップマニュアル [3]」
  - 「LOCALBASE ユーザインタフェース・マニュアル [4]」
  - 「HTTP ゲートウェイ・リファレンス・マニュアル [5]」
- 「LANDSCAPE スタートアップ・マニュアル [6]」  
各種エージェント・マニュアル
  - 「xl(standard) エージェント・リファレンス・マニュアル [7]」
  - 「xlsv エージェント・リファレンス・マニュアル [?]」
  - 「gbview エージェント・リファレンス・マニュアル [8]」
  - 「gbmx エージェント・リファレンス・マニュアル [9]」
- 「LANDSCAPE スクリプト・リファレンス・マニュアル [10]」
- [UNDEF REF (gb-data-structure)]

自分の地図を公開するためには、その地図を載せた GLOBALBASE 用のサーバが必要です。そのようなサーバを持っていない、あるいは管理する知識がないといった方にも一つ方法はあります。そういったサーバの管理能力のある人や、既に GLOBALBASE サーバを立ち上げている人とコンビネーションを組み、その人とサーバに自分のコンテンツを載せてもらうという方法です。この方法はあながち非現実的ではありません。多くの場合、サーバが管理出来る人とコンテンツについて知識がある人は別の種類の人である可能性がたかいです。従って、このようなコンビネーションを組むことは重要なことです。

ある博物館では、編集可能な LOCALBASE を立ち上げ、そこに複数の作業員でプロット情報を載せて行くといった作業をこなしています。この場合、作業員は、LOCALBASE の編集画面の知識のみがあれば、コンテンツを作成することが可能です。LOCALBASE の編集機能は、「LOCALBASE セットアップマニュアル」[3] の「プロットデータ編集機能のインストール」の項目を参照してください。

サーバを管理する基本的な知識と経験を持ち合わせている方は、GLOBALBASE サーバを立ち上げるのが最も強力です。その場合の手順は、

- サーバをインストール、立ち上げ、管理する。
- 地図コンテンツの構造を理解し、コンテンツを作り、サーバに登録する。

以上のような感じです。

まず最初の、サーバのインストール、管理については、まずは基本的な OS やネットワークについての知識があることが前提条件です。DNS や TCP/IP などのネットワークの知識、ユーザ管理や NFS などの OS の管理の知識が必要です。これは WWW サーバを立ち上げるときと同様な知識であり、WWW サーバを自分で管理している方であれば、これに、GLOBALBASE のサーバである LANDSCAPE の知識を修得すれば問題ないでしょう。LANDSCAPE に関するインストールから管理に関するマニュアルは「LANDSCAPE スタートアップ・マニュアル [6]」です。このマニュアルの他に、LANDSCAPE に含まれる様々な機能 (agent) に関するマニュアルがあります。これらは、いまのところ独立した冊子として提供して行きますが、最終的には、「LANDSCAPE スタートアップ・マニュアル [6]」へ取り込み一冊の LANDSCAPE に関するマニュアルになります。

次に地図コンテンツを作るための知識の修得は、[UNDEF REF (gb-data-structure)] に記載されています。[UNDEF REF (gb-data-structure)] にはテンプレートデータセットを利用した簡単なデータの作り方

から、様々なツールを応用した高度なデータの作成方法まで様々記載されています。データ作成時に利用するツールは LANDSCAPE のパッケージに含まれていますので、「LANDSCAPE スタートアップ・マニュアル [6]」をリファレンスとして利用すると良いでしょう。

## 2.4 自分が公開する地図を WWW 上に貼付けたい

- 「LOCALBASE セットアップマニュアル [3]」
- 「HTTP ゲートウェイ・リファレンス・マニュアル [5]」
- 「xslv エージェント・リファレンス・マニュアル [?]」
- 「gbview エージェント・リファレンス・マニュアル [8]」

GLOBALBASE のコンテンツを WWW に貼付けたいと考える方は多いと思います。そのためには GLOBALBASE-HTTP GATEWAY または LOCALBASE を利用するのが基本です。そのための様々な方法について、「LOCALBASE セットアップマニュアル [3]」で解説しています。LOCALBASE は WWW のみで動作する物ではありません。GLOBALBASE サーバである LANDSCAPE と接続して使用します。そのため、LANDSCAPE の知識特に、「xslv エージェント・リファレンス・マニュアル [?]」「gbview エージェント・リファレンス・マニュアル [8]」の知識が必要です。これらのマニュアルも同時に参照しましょう。

WWW との連携は今後ますます増えて行くでしょう。従って、様々な連携ツールも開発されてくることでしょう。

## 2.5 トラブルシューティング

- 「ver.B. リリースレポート [11]」

トラブルが発生し、思うように操作が出来ない場合は、各マニュアルにあるトラブルシューティングの項目を参照してください。または、「ver.B. リリースレポート [11]」には現在報告されているバグ、および各バージョンに於けるバグフィックス情報が掲載されています。これらを参照してください。

## 2.6 GLOBALBASE 開発プロジェクトへ参加したい

- 「ver.B. リリースレポート [11]」
- 「GLOBALBASE の開発 [?]」
- 「マニュアル環境とマニュアルの書き方 [12]」
- [UNDEF REF (sourcecode-reference)]

GLOBALBASE の開発プロジェクトへの参加の方法は様々な形態があります。たとえば、

1. 様々な機能の提言を行う。
2. cosmos や LANDSCAPE のバグを発見してレポートする。
3. マニュアルを書いたり、翻訳したりする。
4. ソフトウェアやモジュールを書く。

などです。機能の提言や、バグレポートは、だれでも出来ます。そのためのホームページを準備中です。現在発見されているバグの処理状況や提言された機能の実装状況もホームページで公開していきます。また、バグレポートに関しては、「ver.B. リリースレポート [11]」にまとめられ、バージョンごとのバグのフィックス状況がわかるような体制を作っていきます。

次に、だれでも参加しやすいものとしては、マニュアルの執筆や翻訳でしょう。特に英語等に翻訳を行う人を求めています。統一的なマニュアルを書くために、一定のルールを決めています。GLOBALBASE のマニュアルは、その一定のルールを反映した簡単な XML のタグを利用した XML 形式のドキュメントとしてまとめられています。この XML のドキュメントから、PDF および HTML のマニュアルを生成し、いずれもホームページで公開しています。このルールについて、「マニュアル環境とマニュアルの書き方 [12]」にまとめられていますので、まずは、これを読んでください。しかしながら、このマニュアルを読まなくとも、とにかく翻訳していただいた文章をメールなどで送っていただいても、非常に助かります。

GLOBALBASE のソースコードを利用して新しいアプリケーションを開発したいという場合、あるいは GLOBALBASE のソースコードに新しい機能を追加し、プロジェクトに寄与したいという場合、GLOBALBASE の内部関数に関する知識が必要です。スクリプトレベルであれば、「LANDSCAPE スタートアップ・マニュアル [6]」を参照することで解決します。しかし、C/C++言語で記述しようという場合などは [UNDEF REF (sourcecode-reference)] が必要です。

もし、GLOBALBASE の開発に寄与しよう開発を試みられた場合、開発されたソースコードを送っていただいても良いです。もし、もっと密な連携をしたい場合には、我々の sourceforge.jp にあるプロジェクトに加わり、共同開発するという方法となります。この場合、GLOBALBASE の機能に関する知識の他に、

1. 開発ポリシー
2. 開発ツールの取扱、癖など
3. 利用しているオープンソースライブラリに関する情報と知識

を理解する必要があります。これらに関する情報は、「GLOBALBASE の開発 [?]」に記載されています。最後に、実際に開発する際、ソースコードの様々な関数のリファレンスが必要となってくるでしょう。これは、 [UNDEF REF (sourcecode-reference)] にあります。

## 2.7 古いマニュアル

1. 移植関連ドキュメント (<http://globalbase.sourceforge.jp/doc/ja/>)

その他、このマニュアルを作る体制以前の古いマニュアルに関しては、上記 URL に記載があります。しばらくの間、保管情報としてこのマニュアルを参照してください。

## 関連図書

- [1] 森洋久. COSMOS ユーザーズ・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [2] 森洋久. COSMOS リファレンス・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [3] 森洋久, 中島智人. LOCALBASE セットアップ・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [4] 中島智人, 森洋久. LOCALBASE ユーザインタフェース・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [5] 中島智人, 森洋久. HTTP ゲートウェイ・リファレンスマニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [6] 森洋久. LANDSCAPE スタートアップ・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [7] 森洋久. xl(standard) エージェント・リファレンス・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [8] 森洋久. gbview エージェント・リファレンス・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [9] 森洋久. gbmX エージェント・リファレンス・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [10] 森洋久. LANDSCAPE スクリプト・リファレンス・マニュアル. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [11] 森洋久. ver.B. リリースレポート. GLOBALBASE PROJECT, 2006.
- [12] 森洋久. マニュアル環境とマニュアルの書き方. GLOBALBASE PROJECT, 2006.

# 履歴

1. 日時: 2007-11-04  
マニュアル生成。(2007-11-04 版)
2. 日時: 2006-07-14  
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b11  
このマニュアルを作成
3. 日時: 2006-07-29  
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b11.01  
トラブルシューティングの項目を追加。
4. 日時: 2006-08-02  
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b11.02  
「xl(standard) エージェント・リファレンス・マニュアル [7]」を追加。
5. 日時: 2006-10-15  
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b13  
若干のマニュアル上のバグを修正。
6. 日時: 2006-12-07  
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b14  
COSMOS リファレンスマニュアルについて追加。
7. 日時: 2007-07-22  
著者: 森 洋久 反映されたバージョン: ver.B.b16.10  
リンクの不整合を訂正。